



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 コメ兵

コード番号 2780 URL <http://www.komehyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 司郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 鳥田 一利

TEL 052-249-5366

四半期報告書提出予定日 平成23年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	18,526	3.9	721	△8.1	721	△7.1	411	△6.7
22年3月期第3四半期	17,827	△22.2	784	7.2	776	13.8	440	13.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	37.53	—
22年3月期第3四半期	40.23	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	15,012	11,669	77.7	1,065.07
22年3月期	13,504	11,434	84.7	1,043.57

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 11,669百万円 22年3月期 11,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
23年3月期	—	7.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,047	1.0	1,008	7.2	1,003	7.8	575	8.7	52.56

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 11,257,000株 22年3月期 11,257,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 300,369株 22年3月期 300,297株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 10,956,669株 22年3月期3Q 10,956,703株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書（第3四半期累計期間）	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 仕入及び販売の状況	7
(1) 仕入実績	7
(2) 販売実績	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における我が国経済は、新興国の経済成長を背景とした企業収益の改善等、景気に持ち直しの動きが見られたものの、欧米経済の減速懸念に起因する円高の影響やデフレの継続等、先行きの景況感是不透明さが強いことから雇用・所得環境は本格的な回復には至っておらず、個人所得が伸び悩む中、生活防衛意識の高まりにより個人消費は依然として厳しい状況で推移いたしました。

リユース業界におきましては、消費者の低価格志向が強まったこと、及び、循環型社会への移行により業界全体が注目を浴び、生活用品・低額品の需要が伸びた反面、高額品や嗜好品の需要は厳しい個人消費の影響を受けることとなりました。また、インターネットによる中古品売上の普及・拡大に加え、一部では他業界との提携や資本受入等の動きも見られる等、様々な要因により買取・販売競争は激化の一途を辿っております。

このような環境の下、当社は販促活動の拡充、オンラインストアの強化、内部統制の推進、教育制度の充実等、様々な経営施策に取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。また、平成22年6月に関西における販売力強化及び中古品供給体制強化を目的として「コメ兵心齋橋店」（大阪市中央区）を移転・拡張、平成22年9月に関東地区における中古品供給体制強化を目的として「コメ兵買取センター吉祥寺」（東京都武蔵野市）を出店いたしました。

中古品仕入高につきましては、東京地区の買取促進広告の強化、「コメ兵心齋橋店」の移転・拡張及び「コメ兵買取センター吉祥寺」出店の効果、適正な買取価格の設定、宝石・貴金属の地金相場の高騰、前年同期において中古品仕入高が減少したことに対する反動等により、順調に推移いたしました。この結果、個人買取仕入高は8,134百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

売上高につきましては、年末商戦で苦戦したものの、閉店セールにより「コメ兵有楽町店」（東京都千代田区、平成23年1月閉店）の売上が順調に推移したこと、宝石・貴金属を中心に中古品仕入が順調に推移したことによって増加した在庫量の適正化を図るため、中古品取扱業者及び貴金属素材取扱業者への販売が増加したこと、前年同期において売上高が減少した反動等から、前年同期比3.9%増となりました。

利益面につきましては、適正な買取及び販売価格の設定、売上総利益が確保しやすい中古品の売上高構成比向上に引き続き注力したものの、売上高総利益率が比較的低位な中古品取扱事業者等への売上高が増加したこと等により売上高総利益率は28.8%（同増減なし）となりました。また、店舗の出店やオンラインストアの強化に伴う人件費及び広告宣伝費の増加等の影響により、販売費及び一般管理費は4,611百万円（同5.8%増）となりました。この結果、売上高営業利益率は3.9%（同0.5ポイント低下）となりました。

以上の結果、当第3四半期の業績については、売上高は18,526百万円（同3.9%増）、営業利益は721百万円（同8.1%減）、経常利益は721百万円（同7.1%減）、四半期純利益は411百万円（同6.7%減）となりました。

なお、商品別の業績は次のとおりであります。

(宝石・貴金属)

中古品仕入が順調に推移したことに伴い、中古品取扱業者及び貴金属素材取扱業者への販売が増加したこと及び前年同期の売上高が大幅に減少したことに対する反動等から、宝石・貴金属の売上高は6,007百万円（同13.3%増）となりました。

(時計)

売上総利益を確保するため、新品よりも安価な中古品の売上高構成比を向上させたこと及び高額品需要の減退等から、時計の売上高は6,302百万円（同0.8%減）となりました。

(バッグ・衣類)

高額品需要が減退したものの、アウトレット商品の販売キャンペーン等により東京地区における売上が順調に推移したこと等から、バッグ・衣類の売上高は5,542百万円（同0.7%増）となりました。

(カメラ・楽器)

店舗の専門性を高め、顧客ターゲットを明確にしたことによる売上点数の増加、オンラインストアの売上が順調に推移したこと及び前年同期の売上高が大幅に減少したことに対する反動等から、カメラ・楽器の売上高は634百万円（同1.0%増）となりました。

(不動産賃貸)

当社所有物件のうち、店舗構成の見直し及び周辺環境の変化等により店舗としての活用が難しくなったものについては、不動産賃貸物件として有効活用が可能なものを除き、随時売却していく方針であります。

当第3四半期につきましては、不動産賃貸収入は39百万円（同3.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産につきましては、前事業年度末に比べ1,508百万円増加し、15,012百万円となりました。これは主に、年末年始商戦及び平成23年1月の「コメ兵銀座店」（東京都中央区）オープンに備えるため、商品が814百万円増加したこと及び売掛金が350百万円増加したことによるものであります。負債につきましては、短期借入金の増加等により前事業年度末に比べ1,272百万円増加し3,343百万円となりました。純資産につきましては、四半期純利益の確保等により前事業年度末に比べ235百万円増加し、11,669百万円となりました。しかしながら、上記商品の増加等に伴う負債の増加により自己資本比率は77.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ12百万円減少し、当第3四半期末は1,219百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

前年同期に比べ2,765百万円減少し、712百万円の資金支出となりました（前年同期は2,053百万円の資金収入）。

これは主に、たな卸資産の増加額821百万円及び法人税等の支払額580百万円が税引前四半期純利益707百万円を超過したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

前年同期に比べ507百万円減少し、540百万円の資金支出となりました（前年同期は33百万円の資金支出）。

これは、新規出店に伴い、有形及び無形固定資産の取得による支出368百万円及び差入保証金の差入による支出171百万円を計上したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

前年同期に比べ3,843百万円増加し、1,240百万円の資金収入となりました（前年同期は2,603百万円の資金支出）。

これは主に、短期借入金の純増額1,700百万円が長期借入金の返済による支出305百万円及び配当金の支払い額153百万円を超過したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年10月26日に発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、第2四半期累計期間における営業利益、経常利益、四半期純利益は当初予想した数値（平成22年5月7日発表）を下回る結果となりましたが、通期の業績につきましては、平成23年1月22日オープンの「コメ兵銀座店」による収益の底上げ効果や、全社的な在庫及び経費コントロールの強化による既存店の収益改善効果を見込むこと等から、当初の予想を据え置くことといたしております。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. その他

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益及び経常利益がそれぞれ1,269千円減少し、税引前四半期純利益が7,637千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は17,078千円であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期 会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	800,944	998,398
売掛金	1,220,389	870,186
商品	7,023,945	6,209,561
その他	945,517	663,701
流動資産合計	9,990,796	8,741,846
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,478,874	1,536,635
その他（純額）	1,706,876	1,527,054
有形固定資産合計	3,185,750	3,063,689
無形固定資産	96,950	54,470
投資その他の資産	1,739,279	1,644,574
固定資産合計	5,021,981	4,762,734
資産合計	15,012,777	13,504,581
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	405,844	206,477
短期借入金	1,700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	39,152	332,428
未払法人税等	23,223	364,847
賞与引当金	114,750	195,665
その他の引当金	52,983	46,525
その他	371,876	323,024
流動負債合計	2,707,829	1,468,967
固定負債		
長期借入金	—	12,500
役員退職慰労引当金	433,530	433,530
その他の引当金	169,204	140,095
資産除去債務	17,267	—
その他	15,359	15,359
固定負債合計	635,363	601,485
負債合計	3,343,192	2,070,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,803,780	1,803,780
資本剰余金	1,909,872	1,909,872
利益剰余金	8,032,866	7,775,041
自己株式	△80,066	△80,041
株主資本合計	11,666,452	11,408,651
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,132	25,476
評価・換算差額等合計	3,132	25,476
純資産合計	11,669,584	11,434,128
負債純資産合計	15,012,777	13,504,581

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	17,827,189	18,526,664
売上原価	12,684,281	13,193,744
売上総利益	5,142,908	5,332,920
販売費及び一般管理費	4,358,058	4,611,569
営業利益	784,850	721,350
営業外収益		
受取利息	375	166
受取配当金	936	975
保険配当金	—	1,145
還付加算金	5,226	117
その他	3,384	3,543
営業外収益合計	9,922	5,948
営業外費用		
支払利息	17,407	4,773
その他	471	905
営業外費用合計	17,879	5,678
経常利益	776,893	721,619
特別利益		
受取保険金	21,830	14,716
特別利益合計	21,830	14,716
特別損失		
固定資産除却損	32,017	22,012
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,368
特別損失合計	32,017	28,380
税引前四半期純利益	766,706	707,955
法人税、住民税及び事業税	320,641	254,332
法人税等調整額	5,249	42,402
法人税等合計	325,891	296,735
四半期純利益	440,815	411,219

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	766,706	707,955
減価償却費	195,992	198,565
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△92,953	△80,914
その他の引当金の増減額 (△は減少)	6,476	35,568
受取利息及び受取配当金	△1,312	△1,141
支払利息	17,407	4,773
為替差損益 (△は益)	△1,156	337
有形及び無形固定資産除却損	27,696	8,910
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,368
売上債権の増減額 (△は増加)	△326,397	△350,539
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,085,047	△821,867
仕入債務の増減額 (△は減少)	338,649	199,367
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△127,162	△4,561
その他	79,245	△30,928
小計	1,968,240	△128,108
利息及び配当金の受取額	1,437	1,110
利息の支払額	△15,110	△4,615
法人税等の還付額	195,209	—
法人税等の支払額	△96,743	△580,892
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,053,032	△712,506
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	60,000	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△89,772	△368,739
差入保証金の差入による支出	△3,408	△171,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,180	△540,636
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,050,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△443,518	△305,776
自己株式の取得による支出	—	△25
配当金の支払額	△110,028	△153,780
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,603,546	1,240,418
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△583,694	△12,724
現金及び現金同等物の期首残高	1,640,307	1,232,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,056,613	1,219,797

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 仕入及び販売の状況

(1) 仕入実績

① 商品別仕入実績

区 分	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月30日)		増減率 (%)	前事業年度 (平成22年3月期)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)		金額 (千円)	構成比 (%)
宝石・貴金属	3,353,270	28.9	4,375,162	31.3	30.5	4,490,776	29.4
時計	4,547,053	39.2	5,662,308	40.5	24.5	6,049,166	39.6
バッグ・衣類	3,265,622	28.2	3,525,472	25.2	8.0	4,191,367	27.4
カメラ・楽器	423,161	3.7	434,760	3.1	2.7	559,613	3.7
合計	11,589,108	100.0	13,997,704	100.0	20.8	15,290,923	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 仕入経路別仕入実績

区 分	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		増減率 (%)	前事業年度 (平成22年3月期)		
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)		金額 (千円)	構成比 (%)	
中古品	買取センター	6,678,138	57.6	7,729,858	55.2	15.7	8,980,514	58.7
	名古屋	2,667,591	23.0	2,982,311	21.3	11.8	3,573,126	23.4
	関東(東京・横浜)	3,159,990	27.3	3,667,235	26.2	16.1	4,237,983	27.7
	関西(大阪・神戸)	850,555	7.3	1,080,312	7.7	27.0	1,169,404	7.6
	宅配買取	282,083	2.4	404,392	2.9	43.4	402,371	2.6
	中古品取扱事業者等	1,531,688	13.2	2,438,439	17.4	59.2	2,066,081	13.5
	小計	8,491,909	73.3	10,572,690	75.5	24.5	11,448,966	74.9
新品	3,097,198	26.7	3,425,013	24.5	10.6	3,841,956	25.1	
合計	11,589,108	100.0	13,997,704	100.0	20.8	15,290,923	100.0	

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 買取センターの仕入実績については、全社仕入高に占める影響度に鑑み、名古屋、関東(東京・横浜)、関西(大阪・神戸)の各地域別に区分開示しております。

(2) 販売実績

① 商品別販売実績

区 分			前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		増減率 (%)	前事業年度 (平成22年3月期)		
			金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)		金額 (千円)	構成比 (%)	
商品 売上高	宝石・貴金属	中古品	4,778,069	26.8	5,535,929	29.9	15.9	6,493,955	27.3	
		新品	524,258	2.9	471,697	2.5	△ 10.0	682,600	2.9	
		計	5,302,327	29.7	6,007,627	32.4	13.3	7,176,555	30.1	
	時計	中古品	3,731,432	20.9	4,045,083	21.8	8.4	5,012,352	21.1	
		新品	2,622,369	14.7	2,257,358	12.2	△ 13.9	3,379,197	14.2	
		計	6,353,801	35.6	6,302,442	34.0	△ 0.8	8,391,550	35.2	
	バッグ・衣類	中古品	4,764,576	26.7	4,733,134	25.5	△ 0.7	6,289,802	26.4	
		新品	737,270	4.1	809,348	4.4	9.8	1,041,657	4.4	
		計	5,501,847	30.9	5,542,482	29.9	0.7	7,331,460	30.8	
	カメラ・楽器	中古品	440,912	2.5	456,894	2.5	3.6	604,390	2.5	
		新品	187,751	1.1	177,897	1.0	△ 5.2	249,393	1.0	
		計	628,663	3.5	634,792	3.4	1.0	853,784	3.6	
	小計	中古品	13,714,991	76.9	14,771,042	79.7	7.7	18,400,501	77.3	
		新品	4,071,649	22.8	3,716,302	20.1	△ 8.7	5,352,848	22.5	
		計	17,786,640	99.8	18,487,344	99.8	3.9	23,753,350	99.8	
	不動産賃貸収入			40,549	0.2	39,319	0.2	△ 3.0	53,218	0.2
	合計			17,827,189	100.0	18,526,664	100.0	3.9	23,806,568	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 地域別販売実績

区 分			前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		増減率 (%)	前事業年度 (平成22年3月期)		
			金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)		金額 (千円)	構成比 (%)	
商品 売上高	名古屋他	中古品	8,495,454	47.7	9,189,069	49.6	8.2	11,387,296	47.8	
		新品	2,739,859	15.4	2,482,010	13.4	△ 9.4	3,592,968	15.1	
		計	11,235,314	63.0	11,671,080	63.0	3.9	14,980,265	62.9	
	有楽町店	中古品	1,316,607	7.4	1,441,586	7.8	9.5	1,726,048	7.3	
		新品	417,027	2.3	394,865	2.1	△ 5.3	552,735	2.3	
		計	1,733,634	9.7	1,836,452	9.9	5.9	2,278,783	9.6	
	新宿店	中古品	3,902,929	21.9	4,140,385	22.3	6.1	5,287,156	22.2	
		新品	914,761	5.1	839,425	4.5	△ 8.2	1,207,145	5.1	
		計	4,817,691	27.0	4,979,811	26.9	3.4	6,494,301	27.3	
	小計	中古品	13,714,991	76.9	14,771,042	79.7	7.7	18,400,501	77.3	
		新品	4,071,649	22.8	3,716,302	20.1	△ 8.7	5,352,848	22.5	
		計	17,786,640	99.8	18,487,344	99.8	3.9	23,753,350	99.8	
	不動産賃貸収入			40,549	0.2	39,319	0.2	△ 3.0	53,218	0.2
	合計			17,827,189	100.0	18,526,664	100.0	3.9	23,806,568	100.0

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 全社売上高に占める影響度に鑑み、「コメ兵有楽町店(東京都千代田区)」及び「コメ兵新宿店(東京都新宿区)」の商品売上高を区分開示しております。なお、当該2店舗及び名古屋市中区大須地区以外の商品売上高については、影響度僅少につき、「名古屋他」に含めております。